

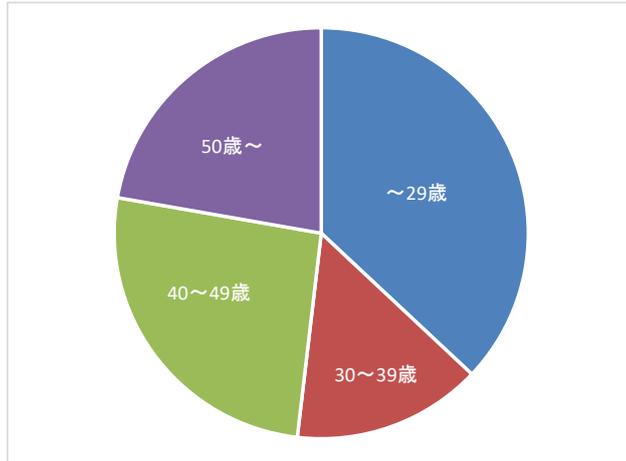
あかし保育絵本土アンケート(認定者)

1 回答者総数 27名(対象者:129名、回答率:20.9%)

2 回答者属性(Q1・2は個人情報等のため省略)

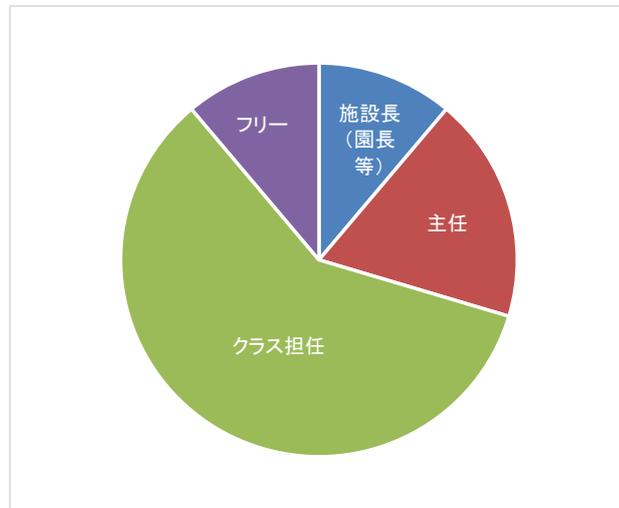
Q3:年齢

～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～
10	4	7	6



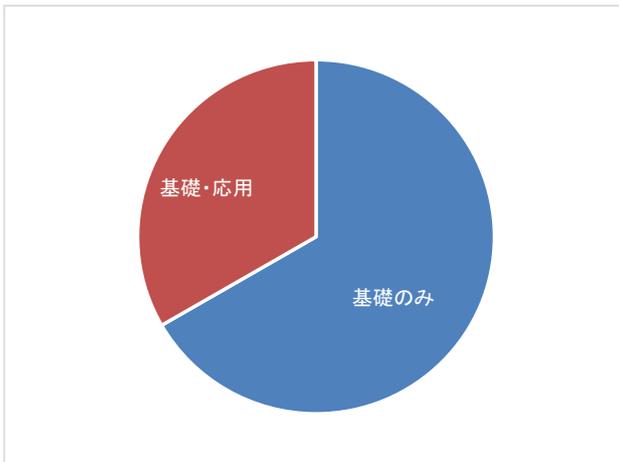
Q4:現在の役職

施設長 (園長 等)	主任	クラス担任	フリー
3	5	16	3



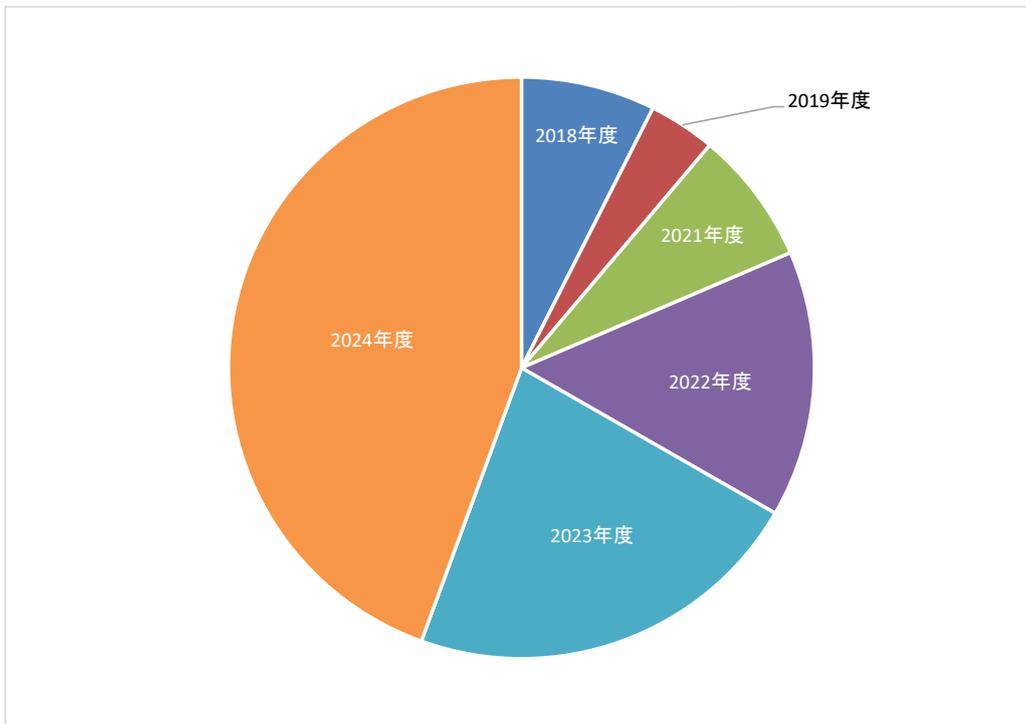
Q5:コースの認定状況

基礎のみ	基礎・応用
18	9



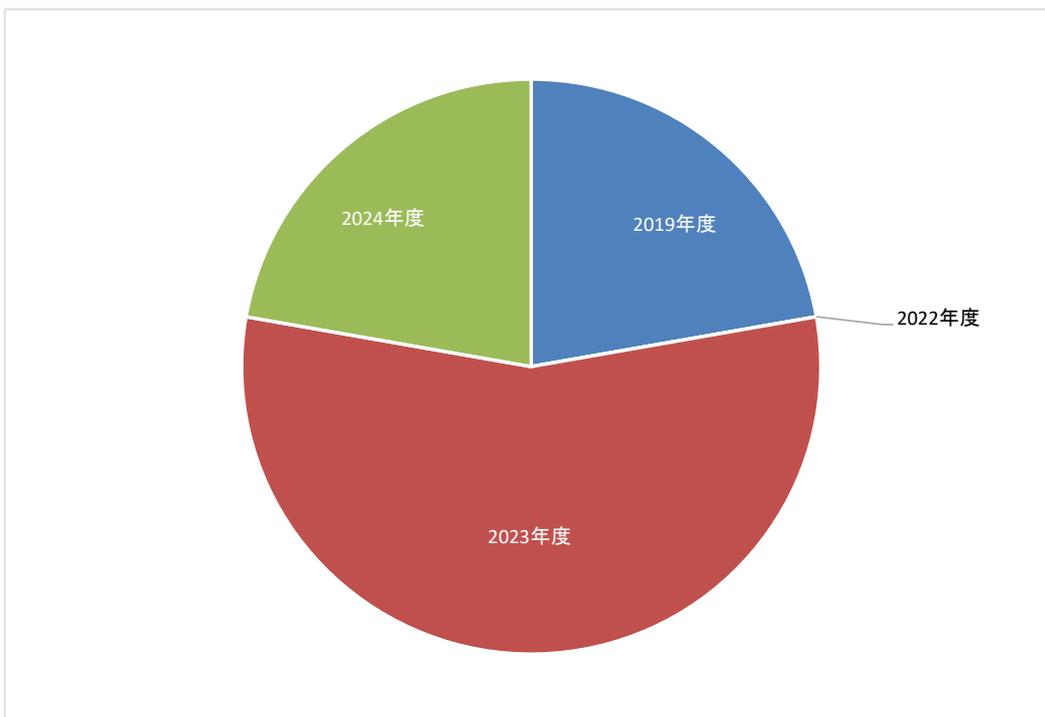
Q6:基礎コース受講年度

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
2	1		2	4	6	12



Q7:応用コース受講年度(応用コース認定者のみ)

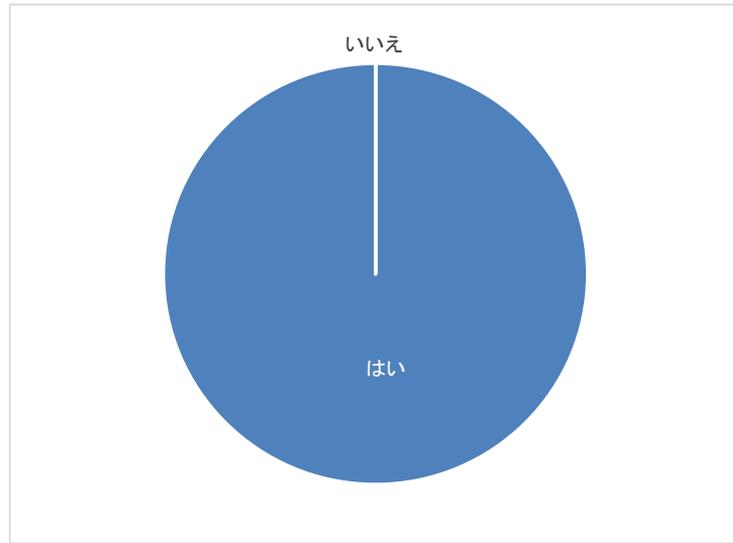
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
2			0	5	2



3 回答内容

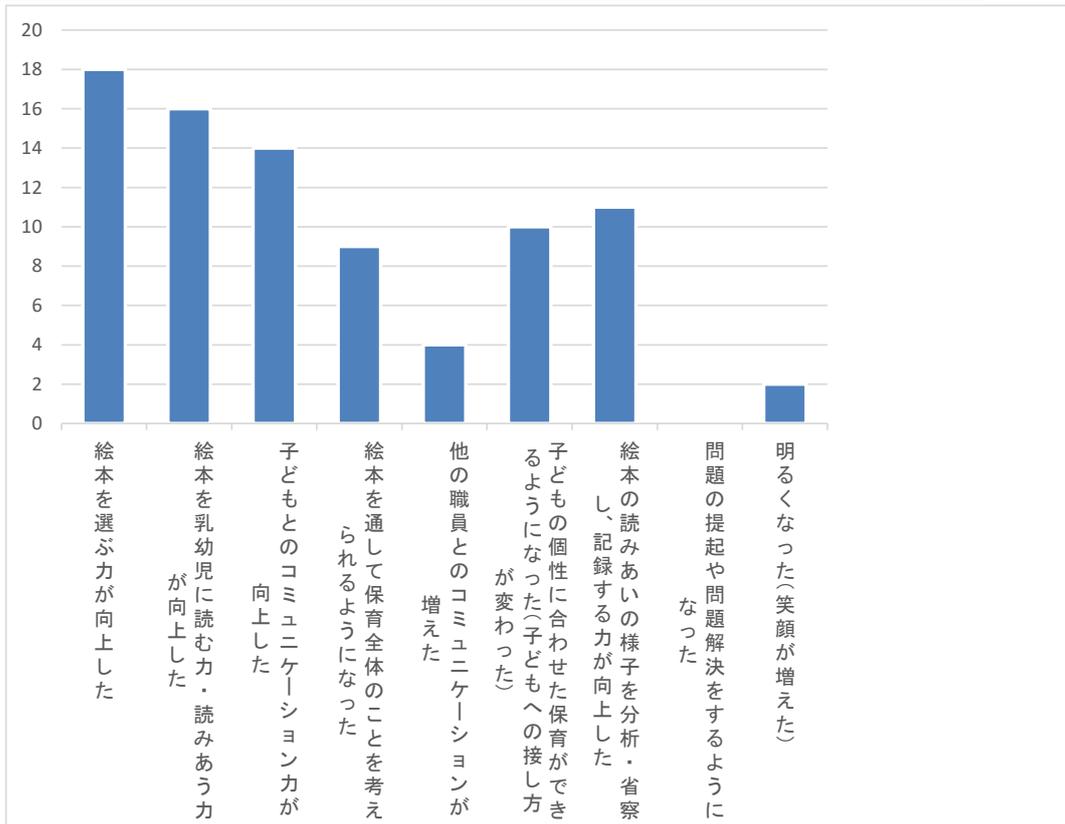
Q8:講座を受講して身についたこと(実践に活かされたこと)はありますか。

はい	いいえ
27	0



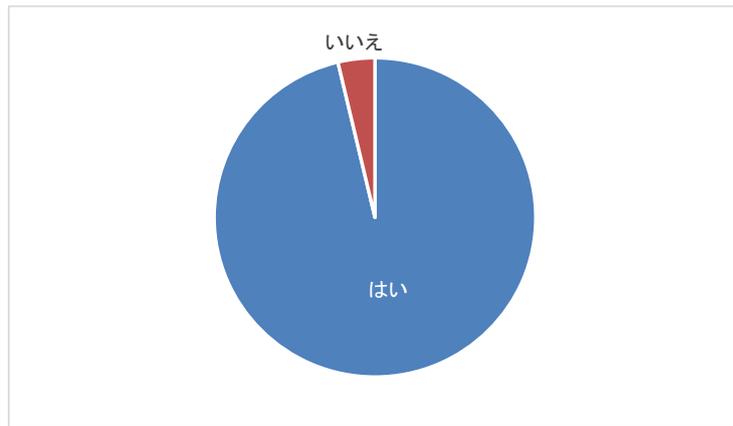
Q9:身についたこと(実践に活かされたこと)を具体的に教えてください。[(複数選択可)]

絵本を選ぶ力が向上した	絵本を乳幼児に読む力・読みあう力が向上した	子どもとのコミュニケーション力が向上した	絵本を通して保育全体のことを考えられるようになった	他の職員とのコミュニケーションが増えた	子どもの個性に合わせた保育ができるようになった(子どもへの接し方が変わった)	絵本の読みあいの様子を分析・省察し、記録する力が向上した	問題の提起や問題解決をするようになった	明るくなった(笑顔が増えた)
18	16	14	9	4	10	11	0	2



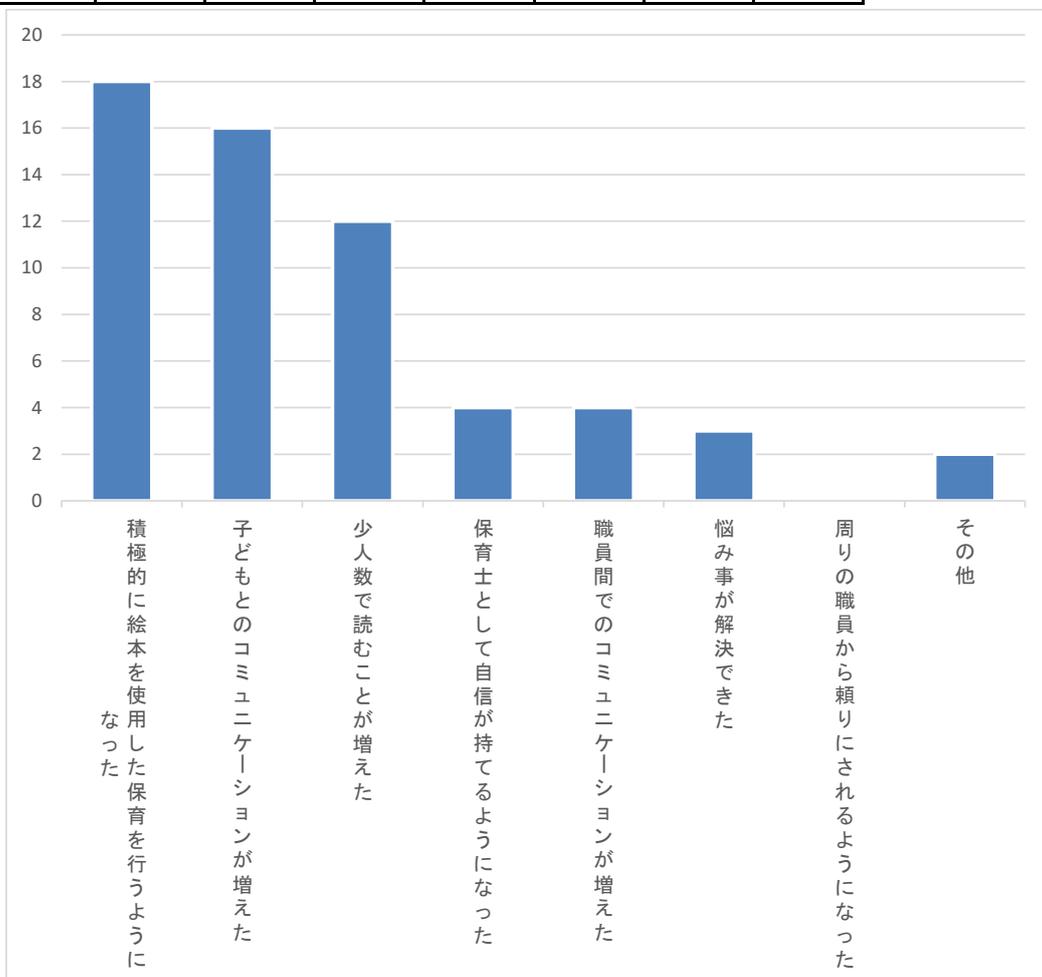
Q10:受講後、ご自身の保育の仕方などに変化がありましたか。

はい	いいえ
26	1



Q11:保育の仕方などの変化について、具体的に教えてください。〔複数選択可〕

積極的に絵本を使用した保育を行うようになった	子どもとのコミュニケーションが増えた	少人数で読むことが増えた	保育士として自信が持てるようになった	職員間でのコミュニケーションが増えた	悩み事が解決できた	周りの職員から頼りにされるようになった	その他
18	16	12	4	4	3	0	2

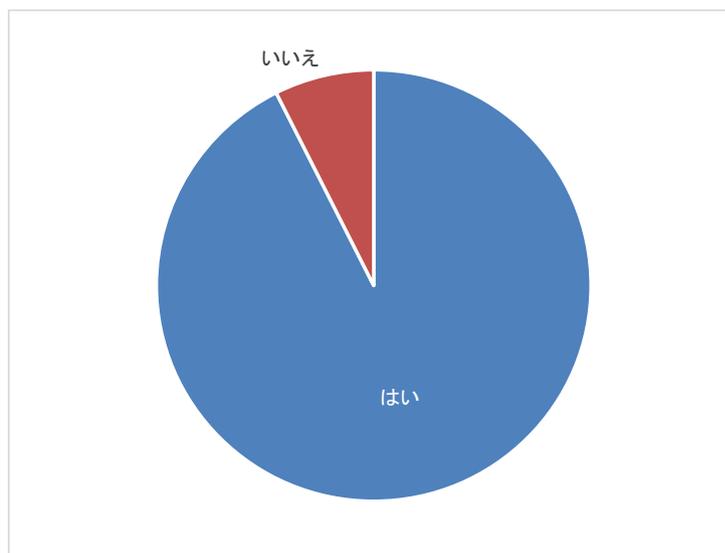


【その他】

- ・季節の絵本細かく入れ替えるように心がけるようになった
- ・絵本を手取る・出す・読む機会が増えた。

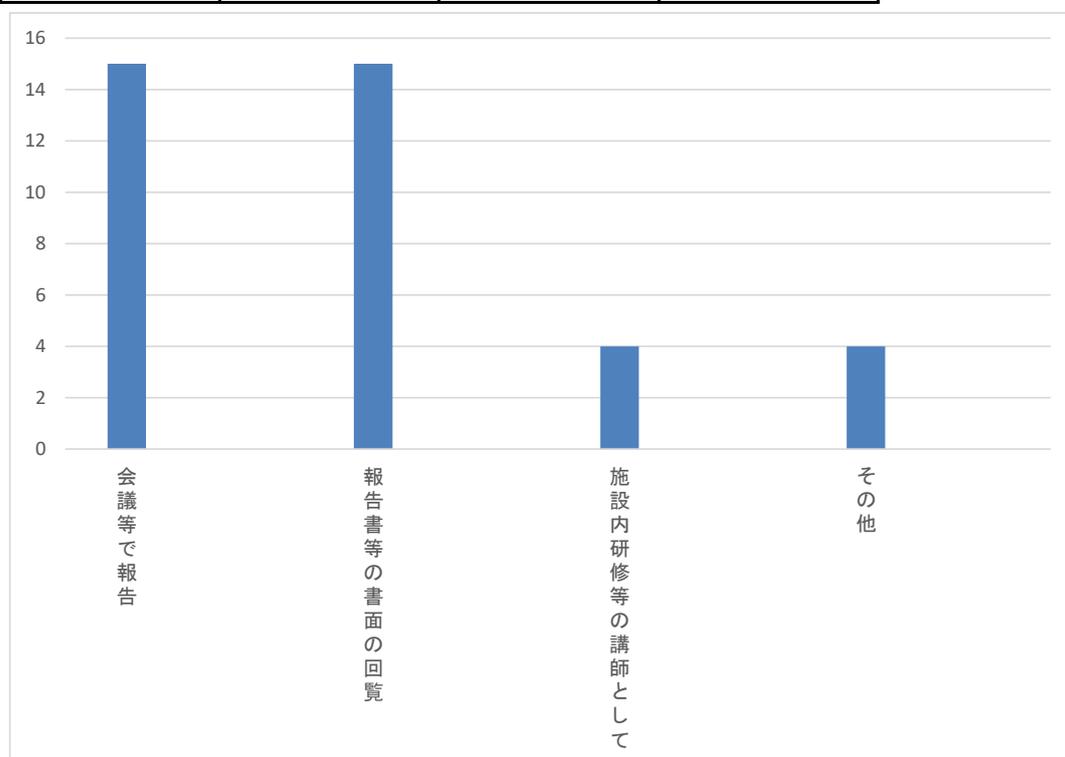
Q12:認定後、施設の他の職員にフィードバックを行いましたか。

はい	いいえ
25	2



Q13:他の職員にはどのように伝えましたか。〔複数選択可〕

会議等で報告	報告書等の書面の回覧	施設内研修等の講師として	その他
15	15	4	4



【その他】

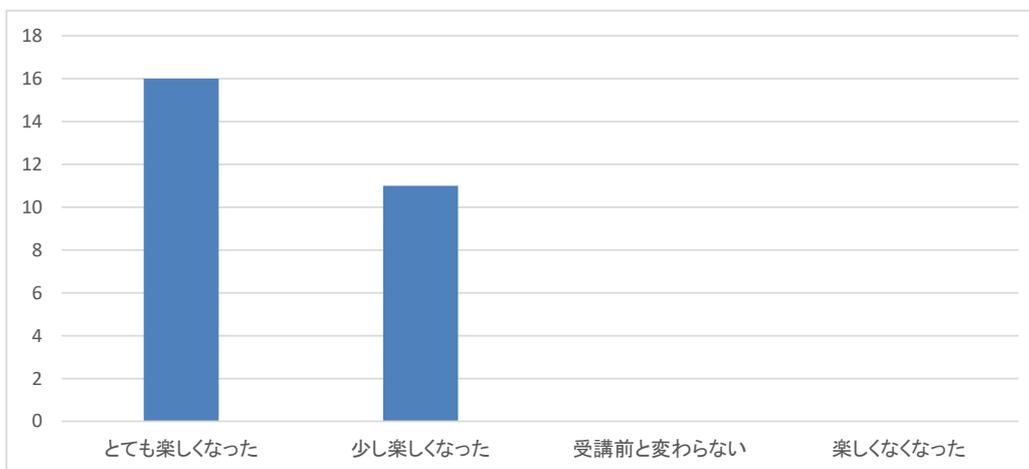
- ・ミーティングなどで取り組みを伝達
- ・日常の会話の中で伝えたり、アドバイスをする
- ・絵本土の研修に興味を持った職員に研修内容を伝えた。
- ・講師の先生の本を使った

Q14:役立った講座内容や、講座内容と実践がつながったことがありましたか。

- ・絵本を読む時、読み合いを意識するようになりました。また、講座の中で絵本の紹介をしていただき保育の中でも活用しました。
- ・絵本のエピソード記録の書き方がためになりました。受講後、自分でもエピソード記録をこまめにとるようになりました。
- ・読み聞かせではなく読み合いという意識が高まった
- ・読み方を意識するようになった。
- ・手遊びに頼らない導入方法を取り入れたことでより子どもたちも絵本の内容を楽しみにするようになった。
- ・選書の仕方と環境作りに目を向けるようになり、子ども達が少しでも絵本に興味を持てるよう工夫している
- ・絵本リーダーを決め、順番に1日一冊選ぶ係を作っている。それにより、絵本を楽しみにする幼児が増えた。
- ・読み合わせをする事で、子どもの姿に気付くことができた。
- ・役に立った講座内容→絵本の記録の取り方、絵本読みの場面記録をより立体的に、絵本の選書、絵本の時間は保育に何を生み出すのか 乳児クラスでは絵本の読み合いでこどもの反応を受け止めやりとりをくり返し楽しんだ。 幼児クラスでは子どもたちの発想からあそびを作り出し、発展させながら遊びを楽しんだ。
- ・読み合いをする際に、子どものどのような行動に注目したらよいか学んだことで、絵本読みをする際の子どもの見方が変わりました。
- ・読み手の保育者が読む際聞き手の保育者も一緒になって読み合いを楽しんでいました
- ・絵本の読み合いの導入で、手遊びなどではなく、子どもたちが自然と保育の世界に入れるように、0歳児で手のひらを合わせて「中には何が入っているかな？」など声かけすると、興味をもって集まってくる姿があった。
- ・読み合いの記録をとることで、子どもが絵本を読んだり見たりする時の様子をよく見るようになった
- ・大事な気持ちが向かい合う、あなたとわたしの中に響き合う空間、読み聞かせではなく読み合うことという講義内容がいつも心の中にあります。
- ・文字のない絵本の読み方や保育者同士での絵本の読み合い
- ・選書の視点や、絵本を用いた保育全体を丁寧に見とれるよう意識するようになりました。なかなか忙しい日々ですが、学んだことを時々思い出して研修資料を振り返ったりしています。

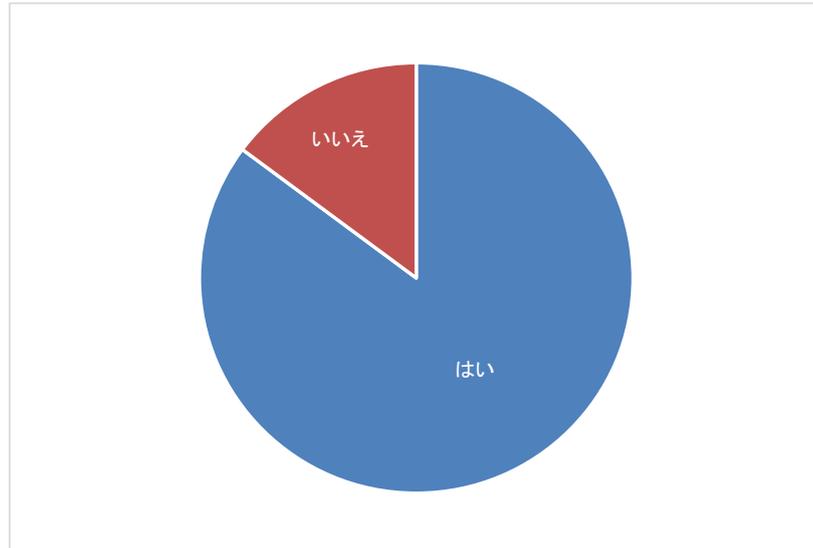
Q15:受講したことで保育が楽しくなりましたか。

とても楽しくなった	少し楽しくなった	受講前と変わらない	楽しくなくなった
16	11	0	0



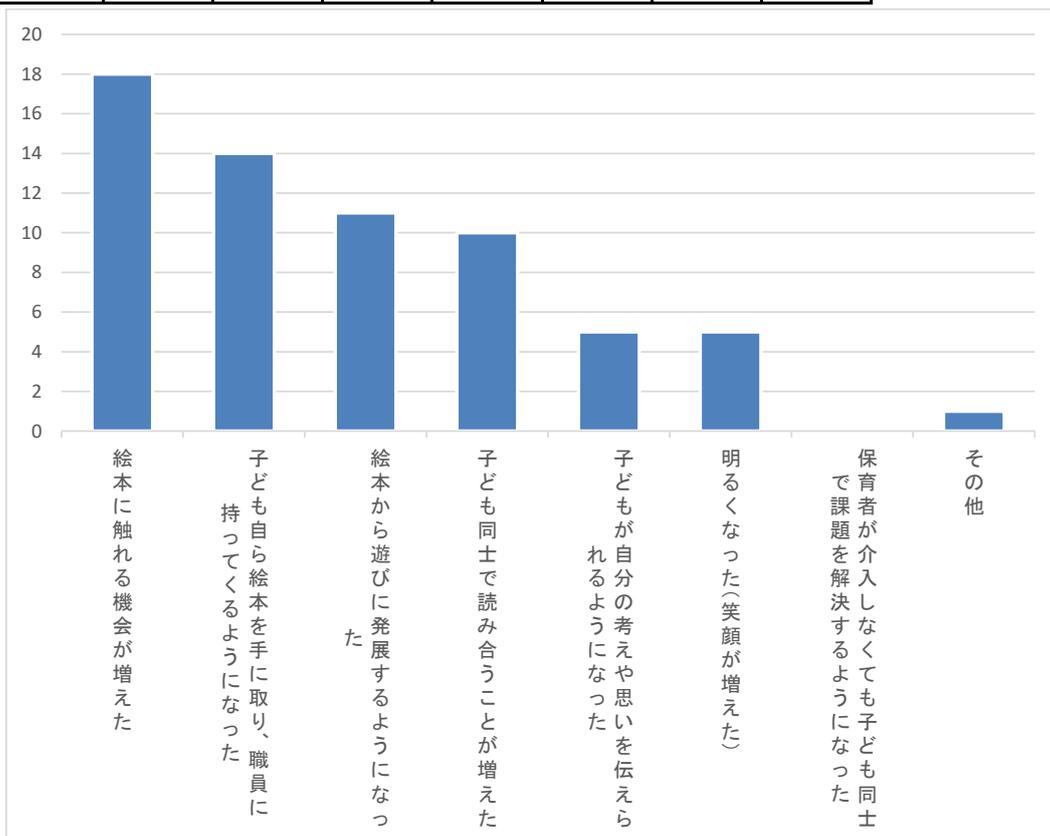
Q16:認定後、子どもたちに変化がありましたか。

はい	いいえ
23	4



Q17:子どもたちにどのような変化があったか具体的に教えてください。[(複数選択可)]

絵本に触れる機会が増えた	子ども自ら絵本を手に取り、職員に持ってくるようになった	絵本から遊びに発展するようになった	子ども同士で読み合うことが増えた	子どもが自分の考えや思いを伝えられるようになった	明るくなった(笑顔が増えた)	保育者が介入しなくても子ども同士で課題を解決するようになった	その他
18	14	11	10	5	5	0	1



【その他】

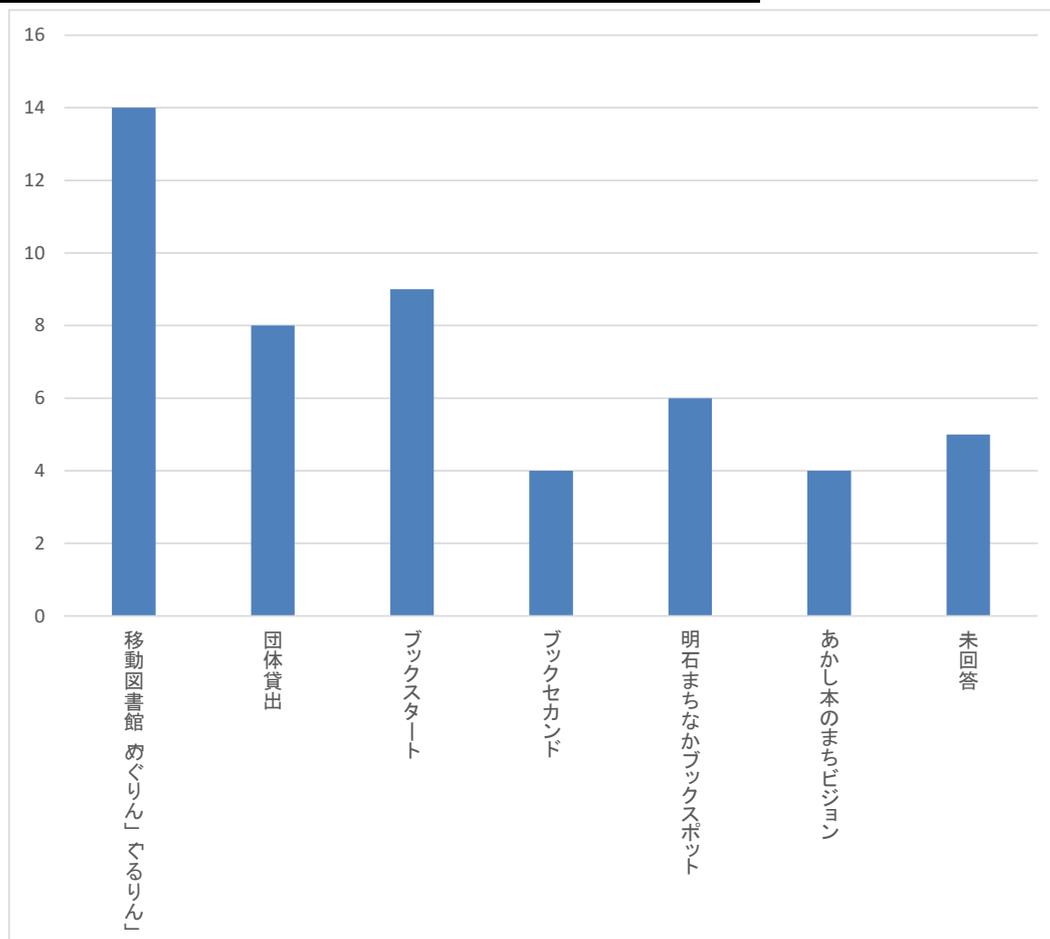
・絵本をじっくり読むようになった。

Q18:当講座について、改善点や要望などお気づきのことがあればお聞かせください。

・講座を受けた保育士とそうでない保育士の温度差があり、実際に講座を受けていないと理解できないこともあるのでできるだけ多くの人に受けてほしいと思いました

Q19:明石が行う本のまちの取組や図書館の取組について知っているものを教えてください。
【(複数選択可)】

移動図書館「めぐりん」「くるりん」	団体貸出	ブックスタート	ブックセカンド	明石まちなかブックスポット	あかし本のまちビジョン	未回答
14	8	9	4	6	4	5



Q20:本のまちの取組に期待すること/やってほしいことがあればご記入ください。

・推薦絵本の紹介や、実際に推薦絵本を手にとることができる機会があればいいと思う。

・他園の取組の様子を知り、参考にできるところがあれば取り入れたい

・出張読み聞かせ会など

・様々な園の絵本環境(図書館や保育室の絵本)や読み合いの取り組みを共有することで、新たな取り組み方を見つけていきたいです。